

酒が供えられています。

《祭り・イベント》

Q 393 日本には、大陸から渡来して始まったものが多くあります。長府の忌宮神社いみのみやには、あるものが伝わったことを記念した碑があり、毎年お祭りが行われていますが、それはなんでしょうか。

- ①麦 ②綿の種 ③桃の種 ④蚕の卵 ⑤桑の種

答え ④蚕種さんしゅ（蚕の卵）

解説 「三代実録」に仲哀天皇ちゆううれい4年（195）、中国秦の始皇帝11代の子孫・功満王が、わが国に帰化するに当たり、豊浦宮におられた仲哀天皇に多くの品を献上しますが、その中にカイコの卵（蚕種）もあったとされています。豊浦宮の地はわが国に蚕種が初めてもたらされた記念すべき場所といえます。昭和8年（1933）3月28日に初めて忌宮神社で蚕種祭が行われ、これと同時に記念碑建立の募金活動を始め、昭和8年（1933）12月2日に高さ5m、幅2mの「蚕種渡来之地」碑が建てられました。高さ136cm、幅240cmの台座には碑文が刻まれています。

🌐 Q 394 毎年4月に行われる「維新・海峡ウォーク」は、平成21年（2009）で24回目を迎えました。スタート地点はどこでしょう。

- ①海峡ゆめ広場 ②市役所前 ③赤間神宮前 ④小月駅前
⑤東行庵

答え ⑤東行庵

解説 毎年4月の初めごろの日曜日に行われます。維新・海峡ウォークは平成21年（2009）で24回目を迎えました。今や子供からお年寄りまで

参加者が2万人を超えるウォークとなり、吉田の東行庵をスタートし、シーモール前のゴールまでおよそ30kmを歩きます。また、みもすそ川で分かれて門司港駅前にゴールするコースもあります。

🌐 Q 395 高杉晋作が亡くなった日に、墓前で供養祭を行います、この日をなんと呼びますか。

- ①東行忌 ②桜桃忌 ③河童忌 ④梅処忌 ⑤維新忌

答え ①東行忌

解説 慶応3年(1867)4月14日午前2時に亡くなった高杉晋作は、吉田清水山に葬られました。高杉晋作の号は「東行」で、「東行庵」で梅処尼(おうの)は墓を守り、高杉晋作の命日を「東行忌」といいます。毎年4月14日は、墓前で東行の供養祭が行われますが、晋作が亡くなった新地町に建てられた「高杉東行終焉之地」の石碑前でも供養祭が執り行われています。

Q 396 7年に1度下関市豊北町^{たすき}田耕神社から、神輿・^{みこし}花神子^{はなみこ}を中心とした行列が出て、20キロ弱を歩いて下関市豊北町^{かみたま}神玉地区の土井ヶ浜へ行き、そこで神事を行う、昭和51年(1976)には山口県の無形民俗文化財に指定された祭りはなんでしょうか。

- ①出浜祭 ②^{はまいでさい}浜出祭 ③出山祭 ④山出祭 ⑤山浜祭

答え ②浜出祭

解説 下関市豊北町で、7年ごとに行われる祭礼です。田耕神社から、神輿・花神子を中心とした行列が出て、20キロ弱を歩いて神玉地区の土井ヶ浜へ行き、そこで神事を行います。行列の衣装は時代がかったもので、神事も古いかたちをよく残していると評価されて、昭和51年(1976)には山口県の無形民俗文化財に指定されました。田耕側の神社には、13世紀末、鎌倉時代の蒙古襲来(=^{びんころ}元寇)直後か

ら始まったという社伝があります。現在のような行列のもっとも古い記録は、江戸時代の『風土注進案』に残された「土井ヶ濱祭事氏子中割符帳控（享保年之分）」で、享保9年（1724）に行われた祭のものです。

Q 397 7年に一度開かれる浜出祭（下関市豊北町神玉・田耕^{たすき}）のメインイベントで、神玉側が用意した大きな魚をまな板に据え、田耕側の代表が手を触れずに箸と庖丁だけで頭上高く掲げて「見たり」と叫び、それからさばく神事をなんと言おうでしょうか。

- ①鯛切 ②鯨切 ③魚切 ④鱒切^{ふりきり} ⑤海豚切^{いるかぎり}

答え ④鱒切

解説 浜出祭のメインイベントです。神玉側が用意した大きな鱒をまな板に据え、田耕側の代表が手を触れずに箸と庖丁だけで頭上高く掲げて「見たり」と叫び、それからさばきます。鱒は島戸^{しまど}・和久^{わく}・矢玉^{やたま}の各浦がそれぞれ1尾ずつ用意し、計3度行われます。この神事は、蒙古^{もうこ}の将を切った時の様子を再現したものとされています。

Q 398 毎年5月には、安徳天皇の御霊^{みたま}をお慰めする先帝祭^{せんていさい}があります。下関を代表する有名な祭りのひとつですが、3日に行なわれる上臈道中^{じょうろう}・上臈参拝の説明のうち、誤りはどれでしょうか。

- ①源平壇之浦合戦で生き残った平家の女官たちが、3月24日の安徳天皇の御命日には、毎年威儀を正して御影堂に参拝したのが、上臈参拝の由来とされています。
- ②上臈道中は豪華絢爛な衣装をまとった5人の太夫が、稚児・警固・官女を従えて華やかに行進します。
- ③5人の太夫は、振袖太夫・二番太夫・三番太夫・四番太夫・傘留太夫と呼ばれています。
- ④昭和41年（1966）からは、下関舞踊協会の奉仕で行なわれています。

- ⑤赤間神宮境内で行なわれる上臈参拝で、五人の太夫は天橋を渡り先帝（安徳天皇）の御霊をお慰めするための参拝を行ないます。

答え ②

解説 5人の太夫は、それぞれ稚児・警固・官女・禿かむろを従えています。5月3日は上臈道中、上臈参拝、本殿祭、十二単正装神殿参拝などが、2日は平家一門追悼祭、安徳帝正装参拝、御陵前祭などが行なわれます。また5月4日は、赤間神宮での本殿祭と、御神幸祭ひとえ（赤間神宮～伊崎町の赤間神宮あんど御旅所）などが行なわれます。現在の先帝祭は「しものせき海峡まつり」（5月2日から4日）の一部として、盛大に行なわれています。「関の先帝、小倉の祇園、雨が降らねば金が降る」と古くから俗謡にもあるように、大勢の参拝客で賑わいます。

Q 399 「豊田のホタル祭り」は日本屈指のホタル祭りで、その歴史も長いことで知られています。ホタル祭りとしては日本で何番目に長い歴史を持っているでしょう。

- ① 1 番目 ② 3 番目 ③ 5 番目 ④ 7 番目 ⑤ 9 番目

答え ② 3 番目

解説 夏の風物詩、木屋川ゲンジボタルが乱舞を見せ始める頃、豊田地域最大のイベント「豊田のホタル祭り」が盛大に開催されます。会場周辺には100軒あまりの夜店が並び、精霊流し、ホタル観賞バス等、盛りだくさんのイベントが催され、県内外から多くの観光客が訪れます。

🌳 Q 400 毎年7月17日の夜に、孝女伝説を持つ幽霊囃の掛軸を開帳する行事が永福寺で行われています。この行事の名前はなんでしょう。

- ① 孝女祭り ② 夫婦円満祭 ③ お化け祭り ④ 幽霊祭り
⑤ 靈魂慰霊祭

答え

④幽霊祭り

解説

古代創建のお寺といえば国分寺ですが、下関における最も初期の寺としては推古天皇19年（611）、百済の琳聖太子によって創建されたとされる永福寺、専念寺などがあります。永福寺は、下関の観音崎町の山手高台にあり、臨濟宗のお寺ですが、毎年7月17日の夜、孝女伝承を持つ幽霊図の掛軸を開帳する行事は、「永福寺の幽霊祭り」として民間の信仰を集め、多くの善男善女がお参りしています。

Q 401 長門国二の宮・忌宮神社は、勝戦の神、安産の神として有名です。
また数方庭（県文化財）も有名で1800年の歴史を持ち、天下の奇祭と言われています。毎年8月7日から13日まで行なわれる数方庭の説明のうち、誤りはどれでしょうか。

- ①第14代仲哀天皇の御代、忌宮神社の場所には豊浦宮が置かれました。そこへ新羅の塵輪が九州の熊襲を煽動して攻寄せてきました。大変な苦戦でしたが、最後に仲哀天皇が自ら弓を引いて、敵の大將塵輪を射斃しましたので、賊軍は色を失って退散し、人々は矛をかざし旗を振って歓喜のあまり踊り廻ったと言われます。これが数方庭の由来とされています。
- ②塵輪の首を斬って、その場に埋め大きな石で覆いました。塵輪の顔が鬼のようであったことから、その石を「鬼石」と呼ぶようになりました。
- ③数方庭は、その由緒に基づき矛や剣・薙刀などを持って「鬼石」の周りを踊り廻るものでしたが、江戸時代末期に現在のように竹を持って廻るように改められました。
- ④神功皇后が三韓から凱旋された際、この里の女子供たちは灯籠をかざして、お迎え申し上げたと言います。これが切籠のいわれとされています。
- ⑤大幟は孟宗竹と真竹の二本継ぎで、大きいものは長さ三十メートル・重さ百キロになるものもあります。

答え

③

解説

数方庭はその由緒に基づき、矛や剣・薙刀などを持って「鬼石」の周りを踊り廻るものでした。長府藩三代藩主毛利綱元の時（元禄の頃）、太平の世の中に武器は相応しくないということで、現在のように竹を持って廻るように改められました。（以上は忌宮神社の資料などによる）

幟ささげ我も踊らむ若からば 神の御庭に昔唄ひて 近藤清石

Q 402 天下の奇祭といわれる長門二の宮忌宮神社の数方庭祭は、毎年8月7日から13日にわたり境内で繰りひろげられます。期間中参拝者の目を引くものに拝殿前の左右に立つ幟のぼりがあります。向って右側には毛利家の紋所、左側には四つ目紋の家紋のある中幟が奉納されています。さて左側の紋所は誰でしょうか？

- ①桂弥一 ②三吉周亮 ③藤島常興ふじしまつねおき ④服部潜蔵すほうてい ⑤乃木希典のぎまれすけ

答え

⑤乃木希典

解説

山口県無形文化財に指定されている数方庭は約1800年の歴史を持つ長府最大の祭りであり、今や全国的に知られた祭事です。中幟が奉納されているのは、数方庭に対する長府の殿様の信仰が厚かったこと、乃木將軍を生んだ土地としての住民の誇りが、両家に対する心遣いとして今日まで奉納を続けています。

● Q 403 毎年8月13日には、下関市と北九州市門司と関門海峡を挟んで同時にある行事を行います。平成21年には25回目を迎えました。さてこの行事はなんのでしょうか。

- ①関門海峡花火大会 ②海峡ジャズフェスティバル
③海峡よさこい大会 ④関門バナナ叩き売り大会
⑤関門バンドフェスティバル

答え ①関門海峡花火大会

解説 今や日本で有数の花火大会の一つに数えられるようになった関門海峡花火大会は、昭和60年（1985）にお盆を郷里で迎える人たちのため、財団法人下関21世紀協会によって始められました。昭和63年（1988）からは北九州市の門司区側からも花火が打ち上げられるようになりました。平成21年（2009）は、下関市単独では25回目、両市合同での開催は22回目となり、合わせて13,000発の花火が海峡の夜空に打ち上げられました。

🎧 Q 404 毎年8月後半の土・日曜日に行われるのが夏のフィナーレを飾る「馬関まつり」です。この祭りの最後におよそ5千人の人が踊る踊りはなんですか。

①馬関踊り ②源平踊り ③平家踊り ④維新踊り ⑤海峡踊り

答え ③平家踊り

解説 毎年8月後半の土・日曜日に行われるのが夏のフィナーレを飾る「しものせき馬関まつり」。この祭りは、下関青年会議所が昭和49年（1974）8月に「歌と踊りとみんなの夜市」を下関市体育館周辺で開催したことがきっかけで、今では市民の祭りとしてにぎわっています。この祭りのハイライトは、最後に下関市民約5千人が参加して踊る、平家踊り総踊り大会です。舞台上の太鼓と三味と唄の平家音頭に合わせて、国道を5000人が平家踊りを踊る様子は壮観です。

🎧 Q 405 亀山八幡宮では、10月中旬に市指定無形文化財となっている能が催されます。これをなんといいますか。

①毛利能 ②亀山能 ③馬関能 ④赤間能 ⑤海峡能

答え ②亀山能

解説 毎年10月には亀山能が行われます。この起こりは、長府藩初代藩

主毛利秀元が文禄の役の朝鮮帰還軍を迎えたときの、歓迎能に始まったとされ、秀元寄進の翁面をもって長府藩主代々が奉納していました。亀山能は、途中何度か中断してきましたが、「翁渡し」のみは存続。「翁渡し」は、神前で翁の面を本能初番の能楽師に渡し、神歌を謡い、奉納するものです。この亀山能は昭和44年（1969）に下関市無形文化財に指定されています。

🌐 Q 406 12月初旬壇の浦の海岸の大岩で、しめなわ祭が行われます。これは下関の師走の風物詩ともなっていますが、この行事はその山側にある稲荷の行事です。この稲荷の名前はなんでしょうか。

- ①正徳稲荷 ②福德稲荷 ③立石稲荷 ④壇の浦稲荷
⑤赤間稲荷

答え ③立石稲荷

解説 12月初旬に行われる壇の浦にある立石稲荷の行事。社前の海中に大石が立っていますが、昔この石が激浪のため倒れました。その後ふしぎと災害や疫病が起きました。のち狐のお告げによりこの石を立て直したところ、その日から災害が収まったという言い伝えがあります。戦前はこの大石に漁民がしめなわを張って正月を迎えていましたが、戦後一時中断、昭和26年（1951）から赤間神宮が祭主となって大しめなわをかける行事が行われています。

🌐 Q 407 四王司山の山頂で、毎年、新年の初めての寅の日に初寅のお祭りが行われ、参詣客でにぎわいます。この山頂に祭っている神様はなんでしょうか。

- ①韋駄天 ②広目天 ③毘沙門天 ④持国天 ⑤増長天

答え ③毘沙門天

解説 初寅は、新年の初の寅の日に行われる四王司山頂の毘沙門天のまつり。武運長久、開運、福德の神として信仰の厚い毘沙門天で、い

つの頃からか正月はじめの寅の日が縁日となり、その前夜から参詣者でにぎわっています。山頂では、縁起ものの笹に吊るした張子の虎が売られています。

🍡 Q 408 旧暦元旦には、和布刈^{めかり}神事が行われます。この行事はどこかの神社の行事でしょうか。

①住吉神社 ②忌宮神社 ③赤間神宮 ④亀山八幡宮 ⑤大歳神社

答え ①住吉神社

解説 神功皇后の勅を奉じて壇の浦のワカメをとって元旦の供物として神前に供えたという故事に始まる行事です。旧暦の晦日の夜、神官二人と氏子6名が松明の灯をかざして和布刈道とよばれる山道を通って、壇の浦に行き、神事の後神官がワカメを刈りとって往路と違う道を通って帰り、元旦早朝、そのワカメを供えて祭典を行います。この祭事は非公開とされていますが、対岸の門司ではやはり和布刈祭が行われており、こちらは公開されています。

🍡 Q 409 菊川町には雨乞いのための古くからの神事がありますがなんという神事でしょうか。

①おやまめぐり ②たのかみまわり ③よまわり
④おかにまわり ⑤かっぱまわり

答え ④おかにまわり

解説 櫻井八幡宮に古くから伝わる神事で日照り続きで田や畑の作物に被害が出そうなとき2夜3日間の雨乞い、1週間たっても降らないときはさらに5日間、それでも降らないときは、山の頂上で焚き火をして祈る「千ば焚き」。それでも降らないとき「おかにまわり」。真夜中の0時櫻井八幡宮の御神輿しを担ぎ歌野から華山西獄^{げざん}の仲哀天皇^{ちゆうあい}（第14代）の殯葬所^{ひんそうじょ}に参りさらに豊田町の神上寺から徳仙の滝で神事

をして夜中に帰ってくる行事です。最近行われたのは昭和14年
(1939) 8月8日との事です。

